

第73期 報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

ごあいさつ	2
連結決算	3~4
製品別の概況（連結）	5~6
ニュース	7~8
株式の概況	9
会社の概況	10

デンヨー株式会社

【証券コード：6517】

Denyo



新型コロナウイルス感染症仮設病棟で使用される発電機（アメリカ）

ごあいさつ

株主の皆様には、日頃より温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。
当社第73期の報告書をお届けするにあたり、ごあいさつを申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益の減少や雇用環境に悪化が見られるなど厳しい状況で推移いたしました。また、世界経済も各国で外出禁止や移動制限、企業の操業停止など経済活動が抑制された影響もあり厳しい状況となりました。

当社グループを取り巻く事業環境は、国内においては、各地の製品展示会が中止になるなど営業活動の制約を受けましたが、公共工事など建設需要は底堅く推移し、また、防災・減災関連の需要は堅調に推移いたしました。海外においては、建設や資源開発プロジェクトの休止・延期などにより北米やアジア市場における需要が低調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループといたしましては、各種新製品の投入や非常用発電機の受注に注力するとともに、感染対策を実施しつつ生産活動を継続してまいりましたが、売上高550億6百万円（前期比12.5%減）、営業利益53億32百万円（同12.0%減）、経常利益56億45百万円（同9.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益38億60百万円（同5.2%減）となりました。

期末配当金につきましては、前期末比1円増額の1株当たり普通配当金25円とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、世界景気は持ち直しが見られ始め足元の海外需要にも回復の動きが見受けられますが、国内では新型コロナウイルス感染症が再拡大の様相を呈しており、その影響が懸念される状況となっております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、引き続き感染症対策を実施しながら、2021年度から始まる3ヵ年の第二次中期経営計画「Denyo2023」における各種施策を着実に実行し持続的な成長を目指してまいります。

株主の皆様には、今後とも旧に倍するご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

2021年6月



代表取締役社長

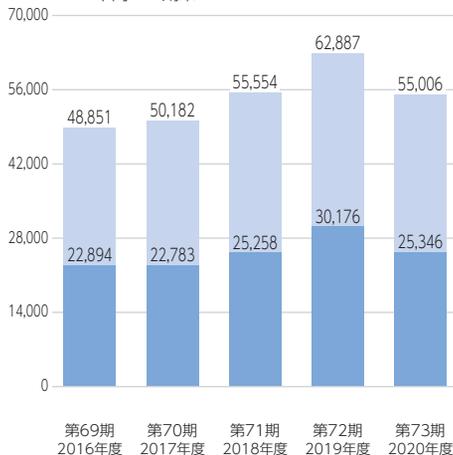
代表取締役会長

白鳥昌一 江藤陽二

グラフで見る連結業績の推移

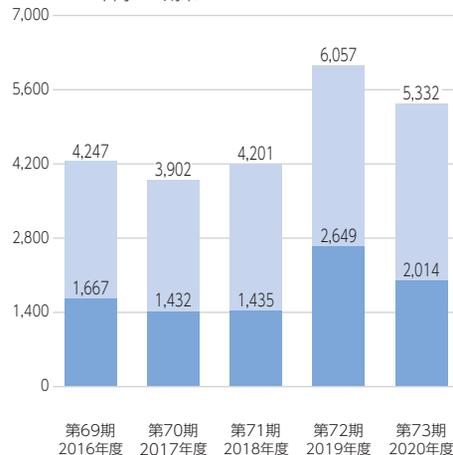
売上高

(百万円) ■ 中間 ■ 期末



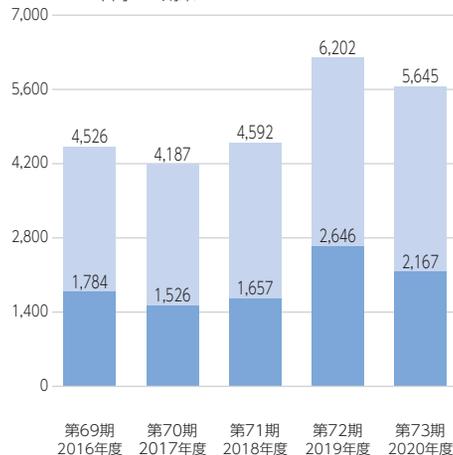
営業利益

(百万円) ■ 中間 ■ 期末



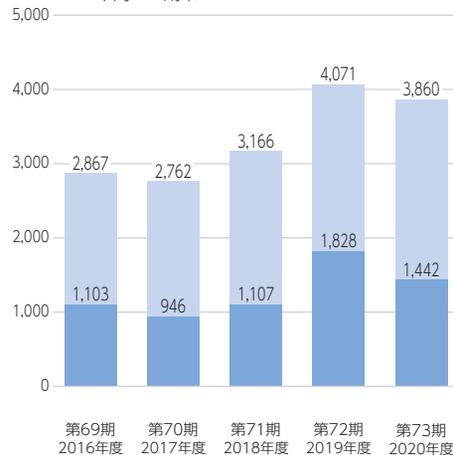
経常利益

(百万円) ■ 中間 ■ 期末

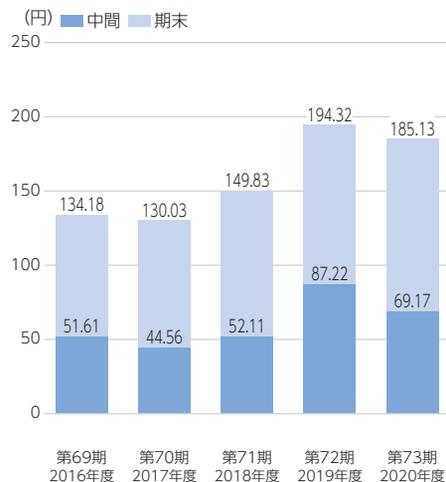


親会社株主に帰属する当期純利益

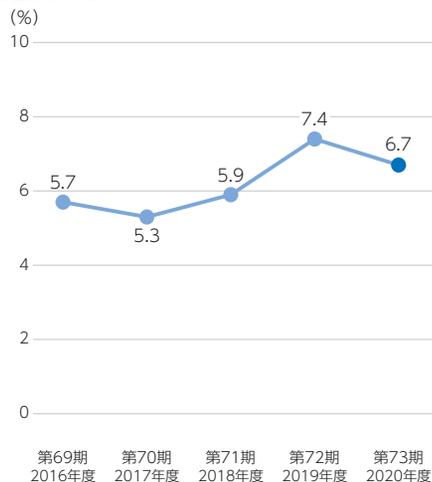
(百万円) ■ 中間 ■ 期末



1 株当たり当期純利益



自己資本利益率 (ROE)



連結キャッシュ・フロー計算書



●発電機関連



（静音発電機マーリエ DCA-45MZ）

発電機関連では、国内向けは工事現場や屋外イベントなどで使用される可搬形発電機の出荷が減少しましたが、停電時のバックアップ電源として使用される非常用発電機の出荷が大幅に増加しました。海外向けは、北米およびアジア市場向けの発電機の出荷が低調に推移いたしました。この結果、売上高440億200万円（前期比12.7%減）となりました。

●溶接機関連



（小型ガソリンエンジン溶接機 GAW-190ES2）

溶接機関連では、国内向けは製品展示会の中止による販売機会の減少などの影響もあり、出荷が減少し、海外向けも低調に推移いたしましたことから、売上高43億86百万円（同13.5%減）となりました。

●コンプレッサ関連



（ディーゼルエンジンコンプレッサ DIS-670LS）

コンプレッサ関連では、エンジンコンプレッサの出荷が低調に推移いたしましたことから、売上高7億55百万円（同25.4%減）となりました。

●その他



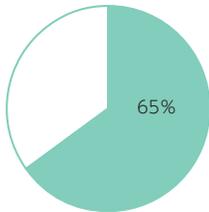
（左）（自走式高所作業車 HW-380IC）
（右）（自走式高所作業車 HW-580X）

その他は、製品に付随する部品売上や高所作業車などの減少により、売上高58億45百万円（同8.2%減）となりました。

■製品別売上高の推移 (単位：百万円)

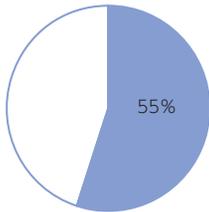
●発電機関連

国内市場占有率



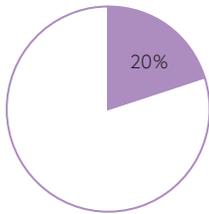
●溶接機関連

国内市場占有率



●コンプレッサ関連

国内市場占有率



●その他



(注) 国内市場占有率は当社調べによる。

燃料電池式可搬形発電装置の実証運転を開始

デンヨーは、燃料電池電源車に続き、主力製品である可搬形発電機においても、水素を使って発電する燃料電池化を実現し、2021年5月より実証運転を開始いたしました。なお、本取り組みは、環境省の「CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業」の採択を受けて実施しております。

今回開発した燃料電池式可搬形発電装置はエンジン発電機と同様に移動が容易なため、工事現場やイベント会場、災害時の避難所など現場を選ばずに電力を供給することができます。発電部には、株式会社豊田自動織機の燃料電池フォークリフトに使われている燃料電池システム*を可搬形発電装置用に活用しており、燃料電池から出力される直流電力を交流電力に変換する燃料電池専用パワーコンディショナーを新たに開発し搭載いたしました。

実証運転では、現在主流のエンジン発電機と比較し、負荷機器への影響やCO2排出削減量など燃料電池式可搬形発電装置ならではの効果を検証してまいります。

デンヨーは、今後も水素社会への取り組みを積極的に続け、水素の需要拡大や再生可能エネルギーの普及へ貢献してまいります。

※トヨタ自動車の燃料電池自動車（FCV）初代MIRAIのセル技術が活用されています。



【燃料電池式可搬形発電装置の基本スペック】

発電出力	電力	7.0kVA
	電圧	100/200V
	電流	35.0A×2/35.0A
	周波数	50、60Hz切替
	力率	1.0
水素ガス	相数	単相3線式
	供給方法	発電装置本体とは別に用意する14.7MPa又は19.6MPaの容器から減圧して供給する
	供給圧力	90kPa
寸法・質量	純度	99.97%
	外形寸法	L：1,800mm、W：900mm、H：1,500mm
	整備質量	950kg

■ 福井工場 新塗装設備 本稼働開始

主力工場である福井工場の新しい塗装設備が2021年4月より本稼働を開始いたしました。

塗装方法に粉体塗装を採用し、塗装膜厚の増加および均一化により、防錆・対候性能が高まるなど製品の品質が向上いたしました。また、設備の規模を大幅に拡充したほか、最新設備の導入により、塗装能力や生産効率、環境性能の向上を実現し、作業環境の改善も図りました。

デンヨーは、今後も従業員の作業改善やよりよいモノづくりのための環境に配慮した積極的な設備投資を実施してまいります。



■ 相談役 久保山英明 黄綬褒章受章

相談役 久保山英明が、令和3年春の褒章において、「黄綬褒章」を受章いたしました。

永年にわたり、社会を下支えする産業である発電機業界に携わり、防災設備として災害などから尊い人命や財産を守るのに必要不可欠な発電機の普及等に、多くのお取引先様のご協力をいただきながら精励してきたことが認められ、今回の受章に至りました。

デンヨーは、1975年に防災用の発電設備の分野に参入して以来、現在に至るまでその開発・製造・販売に注力してまいりました。今後も、防災用の発電機の普及に一層精進し、安全・安心な社会づくりに貢献してまいります。



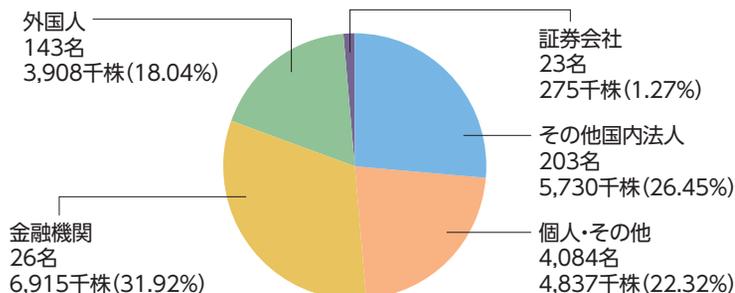
株式の概況 (2021年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 97,811,000株
- 発行済株式の総数 22,859,660株 (自己株式1,191,972株を含む)
- 株主数 4,480名
- 大株主

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
日本スタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,462千株	6.74%
株 式 会 社 久 栄	1,417	6.54
み ず ほ 信 託 銀 行 株 式 会 社	1,082	4.99
第 一 生 命 保 険 株 式 会 社	872	4.02
株 式 会 社 日 本 カ ス ト デ ィ 銀 行 (信 託 E 口)	763	3.52
デ ン ヨ ー 親 栄 会	646	2.98
株 式 会 社 日 本 カ ス ト デ ィ 銀 行 (信 託 口)	589	2.72
ザ エ ス エ ー プ ー パ リ ュ ー リ ア イ ゼ ー シ ョ ン マ ス タ ー フ ァ ン ド エ ル テ ィ ー デ ィ ー	572	2.64
株 式 会 社 鶴 見 製 作 所	543	2.50
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	540	2.49

- (注) 1. みずほ信託銀行株式会社の所有株式数1,082千株は、株式会社みずほ銀行が退職給付信託の財産として拠出しており、その議決権行使の指図権は同行が留保しております。
2. 当社は従業員の福利厚生サービスとして自社の株式を給付する、「株式給付信託 (J-ESOP)」および当社取締役に対する株式報酬制度「取締役株式給付制度」として「株式給付信託 (BBT)」を導入しており、これらの信託の受託者であるみずほ信託銀行株式会社から再信託を受けた株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が当社株式763千株を保有しております。
3. 当社は自己株式を1,191千株 (所有比率5.21%) 保有しておりますが、議決権がないため上記の大株主より除外しております。

○所有者別株式分布状況



会社の概況 (2021年3月31日現在)

商号	デンヨー株式会社
創立	1948年7月2日
本社	東京都中央区日本橋堀留町2丁目8番5号
事業所	全国21カ所
資本金	1,954百万円
従業員	583名(連結子会社を含めた従業員1,334名)
営業種目	下記製品の製造ならびに販売 発電機：エンジン発電機、定置形発電機、電源車 溶接機：エンジン溶接機、バッテリー溶接機、特殊溶接装置、溶接用治具装置 コンプレッサ：エンジンコンプレッサ、モータコンプレッサ その他：高所作業車、投光機、負荷試験装置、部品および修理、その他

主要な連結子会社および持分法適用関連会社の名称

○主要な連結子会社

デンヨー興産株式会社
ニシハツ株式会社
デンヨー アメリカ コーポレーション
デンヨー マニュファクチュアリング コーポレーション
デンヨー ユナイテッド マシナリー PTE.LTD.
デンヨー ヨーロッパ B.V.
デンヨー ベトナム CO.,LTD.
デンヨー トレーディング ベトナム CO.,LTD.
P.T.デイン プリマ ジェネレーター

○持分法適用関連会社

新日本建販株式会社

役員 (2021年6月29日現在) ※監査等委員会設置会社へ移行いたしました。

代表取締役会長	江藤陽二	取締役上席執行役員	山田正雄	取締役常勤監査等委員	木村千代樹
代表取締役社長	白鳥昌一	取締役上席執行役員	田邊誠	社外取締役監査等委員	山田昭
取締役常務執行役員	森山兼作	社外取締役	武山芳夫	社外取締役監査等委員	山上圭子
取締役上席執行役員	吉永隆法	取締役常勤監査等委員	廣井亨	社外取締役監査等委員	名執雅子

執行役員

上席執行役員	布上幸夫	執行役員	藤本庄一	執行役員	藤本庄一郎
上席執行役員	石倉克巳	執行役員	宮元俊樹	執行役員	塚崎裕一
執行役員	港正一	執行役員	窪和義		
執行役員	蝶勢昇	執行役員	大友建一		



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会の基準日	3月31日
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 https://www.denyo.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法とする。
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地
郵便物送付先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎ 0120-49-7009 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

当社ホームページ：<https://www.denyo.co.jp/>

・住所変更・単元未満株の買取等のお申出先について

お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

・未支払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

・「配当金計算書」について

配当金を銀行等口座振込（株式数比例配分方式を除きます。）または配当金領収証にてお受取りの場合、お支払いの際ご送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。なお、株式数比例配分方式をご選択されている株主様におかれましては、お取引の証券会社等にご確認ください。